

若越の林業



ドローンによる苗木運搬

2026 **3** No. 760

植栽時の苗木運搬は「重労働」で「人手」と「時間」がかかる大変な作業です。

坂井森林組合では、苗木の人肩運搬による労働強度や労災リスクの軽減を図り、植栽作業の効率を上げるため、ドローンによる運搬に切り替えています。

(坂井農林総合事務所 林業・木材活用課)



～人材育成研修～

林業従事者向け、ラジコン式林業機械を使った地拵えの実演研修を行いました

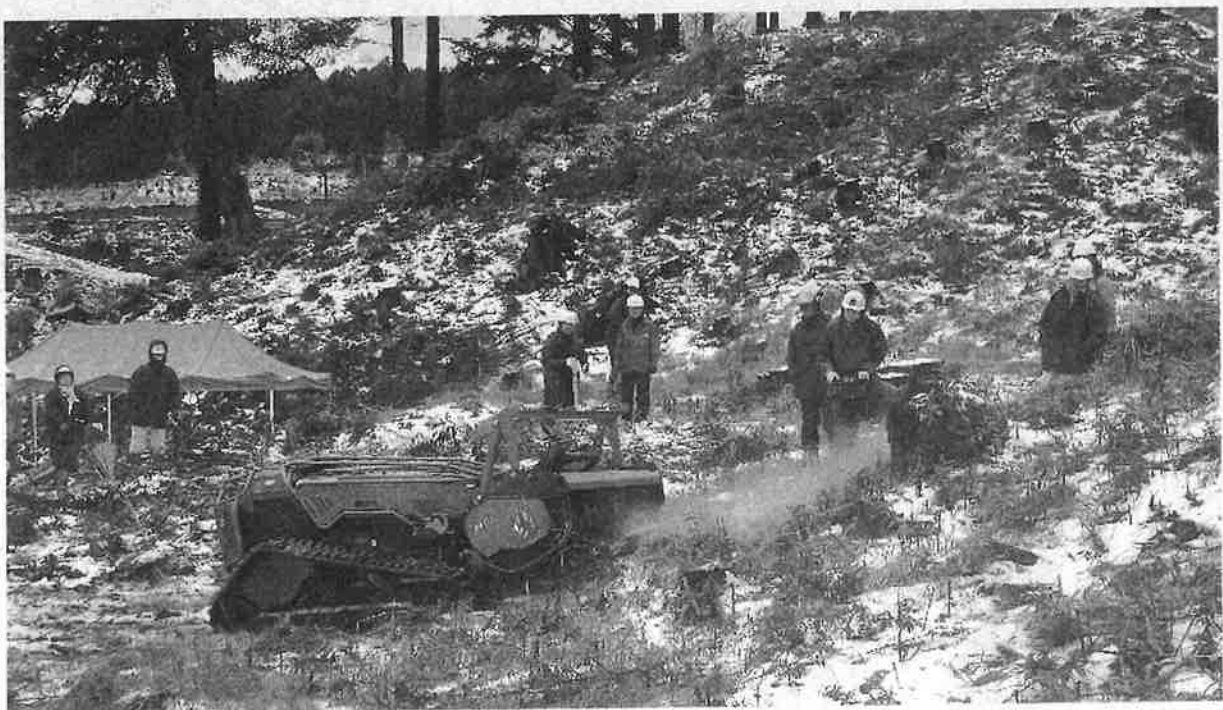
県内の林業従事者は、近年 350 人前後で推移してきましたが、ここ数年は下回る状況となっており、今後、県内の森林で主伐・再造林を進めるにあたっては、安定した人材の確保が課題となっています。

安定した人材の確保には、身体的負担を軽減し、安全に働ける職場環境の整備が不可欠です。特に、林業機械の導入は、今後増加が見込まれる主伐後の地拵えや再造林地の下刈りといった作業において、安全性を確保しつつ効率的な施業を可能にする点で期待されています。なかでも、遠隔操作が可能なラジコン式林業機械は、若い林業従事者でも扱いやすいことから注目を集めています。

そこで、県では、令和 7 年 12 月 5 日、県内の林業従事者のみなさまを対象に、株式会社アクティオの石川凌平様、堀内希一様を講師にお迎えし、ラジコン式林業機械を使った地拵えの実演研修を行いました。研修では実際の皆伐地でラジコン式草刈機と地拵え機のデモンストレーションを実施し、機械の性能やこれまでの導入事例について説明いただきました。雪が降る悪天候の中での研修となりましたが、参加者はラジコン式地拵え機が勢いよく切り株を粉砕する様子を見学した後、実際に操作を体験し、その後は、県内の現場で使用する際の課題や導入の可能性などについて、活発な議論が交わされました。

県では今後も、さまざまな施策等を通じ、多くの若い人材が希望を持って林業の現場で働くことができる環境づくりを推進し、林業に従事されるみなさまが、本県林業の担い手として、長く現場で活躍していただけるよう取り組んでまいります。

(県産材活用課 林業戦略グループ)



林業の「循環」を学ぶ！小学生へ林業体験学習会を実施しました

当事務所では、次代を担う子供たちに森林や林業への関心と理解を深めてもらうとともに、将来の林業の担い手育成につなげるため、地域の学校と連携して様々な森林環境学習を実施しています。

この取り組みの一環として、かつやま子どもの村小学校の生徒を対象に、林業の一連の流れを学ぶ連続講座を開催しました。講座では、大きく育った木を切り倒す「主伐現場見学会」をはじめ、次世代の森を作るための「植林体験」、木材の良さを肌で感じる「木づかい塾」、そして森の恵みである「カンタゲ栽培教室」を行いました。生徒たちは、「植える・育てる・収穫する・使う」という林業のサイクルを、実際の現場や作業を通して体験しました。

参加した生徒からは、「目の前で木が倒れる瞬間はすごい迫力だった」、「自分たちが植えた木が大きく育ってほしい」、「大工さんの技術がすごかった」、「キノコが出てくるのが楽しみ」といった感想が聞かれ、森の仕事の面白さや奥深さを実感している様子でした。

今後もこうした体験学習を通じて、子供たちに林業の魅力や役割を伝え、豊かな森を未来へつなぐ活動を続けていきたいと考えています。

(奥越農林総合事務所 林業・木材活用課)



▲ 木づかい塾



▲ 植林体験

山林協会だより



福井県山林協会
会長 滝波 宏文

いつも「若越の林業」をご愛読いただきありがとうございます。

さて、先般、令和8年1月21日、東京のホテルルポール麴町において全国治山林道協会会長会議が開催され、令和8年度の会長会議が福井県で10月22日～23日に実施されることが決まりました。会長会議が東京都以外で開催されるのは福井県で15例目となります。

今年の秋には全国から福井県に多くの方が来られるわけですから、本県の森林・林業および治山、林道事業の紹介は勿論ですが、本県の魅力ある観光地（恐竜博物館をはじめ、一乗谷朝倉氏遺跡、曹洞宗大本山永平寺、東尋坊、三方五湖等）のPRや、食べるものでは、越前ガニを筆頭に、越前おろしそば、いちほまれ、香福茸（キノコ）などおいしいものがたくさんございますので、全国にしっかりと情報発信していきたいと思っております。

福井県農林漁業賞に

ロガーワークス株式会社（坂井市 林業事業体）が選ばれました！

福井県農林漁業賞

県では、地域の農林漁業の振興に中心かつ先導的な役割を果たしている方や、新たな発想を生かして農林漁業等に意欲的に取り組み、その活性化に貢献している方を表彰しています。

このうち、林業分野は下記の部門で選ばれましたので、ご紹介します。



▲ ロガーワークス(株)の皆さん

【農林漁業経営者部門】 ロガーワークス 株式会社

同社は高性能林業機械の導入や「木を高く売る採り方」の追求を進め、従業員のスキル向上に力を注いでいます。また、作業日報アプリの活用などDXを積極的に推進し、作業管理や事務業務の効率化を実現しています。



▲ 主伐地での素材生産

加えて、就業規則の見直しや安全・設備対策の徹底により、若さと活気あふれる働きやすい職場づくりを推進し、適正な雇用管理を実践しています。さらに、冬場の作業制限に備えて東京事務所を開設し、年間を通して安定した事業量を確保するなど、経営面でも柔軟かつ先進的な取り組みを続けています。

（森づくり課 森林活用グループ）



緑推だより 「緑の募金」について

緑の募金運動は、春季の本格的活動を開始する時期が間近となりました。

緑の募金の運動期間は今年も例年通り、春期は3月22日～5月31日、秋期は9月1日～10月31日です。

令和7年度の緑の募金は家庭や職場、企業や学校、街頭募金など多くの皆様からお寄せいただいた結果、総額約2,524万円が集まりました。この募金は、地域の公園や空き地などで行う植樹活動をはじめ、学校、保育園、公民館など公共施設での植樹、市町がイベントなどで行う緑化苗木の配布、森林ボランティアによる森づくり活動など、県内の緑化推進活動に使わせていただいています。

また、次代を担う子ども達が行う間伐などの体験学習や、木工・クラフト体験などの森林環境教育活動にも活用されています。

さらには、地震や豪雨、山火事等の自然災害による被災地の復旧に向けて、緑化等を通じた支援も行っています。

今年ももうすぐ「緑の募金」期間が始まります。

今後も皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

(公社)福井県緑化推進委員会

HPより募金ができるようになりました。



▲ 街頭募金活動（小浜市）



▲ 緑化木の配布活動（鯖江市）



▲ 森林ボランティアによる森づくり活動（永平寺町）



▲ 地域での植樹活動（大野市）

林業を頑張っている人



はまの けんじ 濱野 健治 さん

長い歴史を持つ「越前和紙」。昨年12月にはユネスコ無形文化遺産に「日本の手漉和紙技術」が登録され、更に注目を集めています。その和紙の原料であるジンチョウゲ科の落葉低木、雁皮^{がんぴ}の植栽・保全等に尽力されている美浜町菅浜地区の濱野さんをご紹介します。

和紙の原料には三種類あり、楮^{こうぞ}と三椏^{みつまた}、そして雁皮です。なかでも雁皮の和紙はカビや虫害に強く耐久性にも優れ、写経用の紙や公文書用紙として重宝されています。その中でも鳥の子紙は滑らかな光沢と風合いが素晴らしく、紙すき職人から「世界一の美しさを実感した」と評されるほど。しかし雁皮は生育期間が長く栽培が難しいという問題があり、全国的にも生産を手掛ける人はごく僅かです。

濱野さんは平成28年に「菅浜炭焼きの会」を立ち上げ、自生木からの採取と植栽による栽培を学び、翌年には植栽を開始しました。木炭用材の伐採跡地にナラ材などと一緒に種から育てた雁皮の苗木を植栽するサイクルを確立、5年をかけて採取できるようになり、今では植栽地が3,000㎡にも広がっています。収穫した雁皮は越前市などの和紙の産地に販売しており、職人の手で美しい和紙となって活用されています。

濱野さんの弛まぬ努力で復活した菅浜雁皮は、今後も福井県のブランド「越前和紙」を支える重要な役割を担っていくことと思います。濱野さんのますますのご活躍を期待しています。

(嶺南振興局二州農林部 林業水産課)



▲ 濱野さん



多面的団体だよ

「もりのこみち かつやま」の取り組み

人々の暮らしを支える大切な森林を守り、よりよい姿で後世に残していくために必要な森林整備活動(環境配慮型の森づくり)を行っている「もりのこみち かつやま」を紹介します。

当団体の代表である大久保さんは、元々環境問題に取り組んでおり、野菜等を包むビニールを減らすため自ら畑仕事に取り組みとう自然農法の講座に参加したところ、団体メンバーの一人となる木村さんと出会います。木村さんの山の森林整備を手伝ったことがきっかけとなり、自伐型林業大学校に入校し専門的なスキルを学びました。今では非常勤講師を行う傍ら自伐型林業を実践しています。

現在、地元勝山市において5ha程の山林を借受け、4人体制で森林整備を行っています。昨年度は森林・山村多面的機能発揮対策交付金等を活用し、環境に配慮して、作業道の両端にできるだけ木を残し、山を削りすぎないよう幅員2.5mまでの作業道を開設しました。今年も引き続き作業道を開設するとともに間伐を実施しています。

今後の展望として、伐採した間伐木を活用してキエーロ(木製のコンポスト)のキットを作成し、環境問題啓発のワークショップを開催するなど、様々な展開を考えているとのこと。県としても、こうした小さな林業(自伐型林業と副業)について、継続的な活動になるよう応援していきたいと思っています。

(奥越農林総合事務所 林業部 林業・木材活用課)



▲ 環境に配慮した作業道の開設



▲ 安全に配慮した森林整備の実施



福井の気候・風土で生育した特定苗木の強度性能解明について

総合グリーンセンター 小泉 扶

はじめに

福井におけるスギ人工林は、充実期を迎え本格的な主伐期に入っていますが、材価の低迷により伐採後の再造林や長期にわたる保育コストの捻出が困難なため、伐採・再造林を実施する森林所有者が少ない状況にあります。主伐再造林を進めていくためには、一般的なスギよりも材質に優れ早期に生育することで、短い期間での収益が見込める「スギ特定苗木」の利用が望まれています。

しかし、樹木の生育は植栽された場所の環境要因や生育期の施業内容でも変化することが知られており、他所でつくられたスギ特定苗木が福井の環境下で生育しても希望通りの優れた材質に育つかどうかは未確定です。そのため当所では、福井で生育したスギ特定苗木の材質を予測・評価することを目指して試験を実施しています。

試験の内容について

特定苗木品種と県産スギを同じ植栽地に植え付け、福井の気候下で生育させながら材質の測定・比較を行います。立木状態



▲ 試験区の状況 (福井市 市ノ瀬地区)

で非破壊的に材質を評価できる応力波伝播速度を用いた測定方法により、幼齢時の材質および成長による変化を評価します。

試験の経過

令和6年3月に植栽した特定苗木品種と県産スギの幼齢木は、植栽後2成長期を経過し、応力波伝播速度を測定可能な樹高・太さに生長した個体から測定を開始して材質の把握を進めています。

立木の応力波伝播速度の測定 (STRT センサーをハンマーで叩いた打撃振動が STOP センサーに伝わる時間を測定する)



用語の解説

「特定苗木」

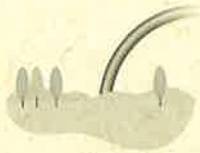
成長量や材の剛性等の特性が特に優れているとして、農林水産大臣により「特定母樹」に指定された樹木から採取した穂種をもとに育成された苗木。

森林・林業・木材を学ぶ研修会、講習会情報【3月開催】

研修会、講習会の名称	月 日	時 間	場 所	申込み
香福茸研修 (新規生産者向け) ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。	3月19日 (木)	13:00 ~ 16:00	座学：越前町下河原 (オタイコヒルズ) 実習：越前町下河原 (姉崎椎茸園ホダ場)	①

*日程などについては都合により変更する場合がありますので [申込み・お問合せ先] に確認願います。

【申込み・お問合せ先】	番号	申込み・お問合せ先	電話番号	FAX番号
①	県	総合グリーンセンター 技術指導グループ	0776-67-0002	0776-67-0004



県森連だより

令和7年度「森林の仕事ガイダンス」・「林業のお仕事見学会」同時開催！

(公財) 福井県林業従事者確保育成基金が主催する「森林の仕事ガイダンス」と林業就業支援講習(1日コース)「林業のお仕事見学会」が、去る2月7日(土)に同時開催されました。ガイダンスには、森林・林業に関心を持つ方が来場し、森林組合や林業事業体のブースを巡りながら、仕事内容や職場環境について担当者から詳しい説明を受けました。また、会場にはチェーンソーや防護ズボンなどの機材展示コーナーも設けられ、参加者は実際の道具に触れながら林業の仕事への理解を深めていました。

また、見学会では実際に作業が行われている現場を訪れ、作業の様子を間近で見学した後、作業員の指導のもとで作業体験にも挑戦しました。体験を通じて林業の魅力をより実感した参加者の中には、その場で「林業カレッジ」への申し込みを行う方もいました。

こうしたガイダンスや見学会を継続して実施することで、林業に興味を持つ方々が抱く漠然とした就業イメージがより具体的なものとなり、将来の林業を支える新たな担い手の確保につながることを期待しています。

(福井県森林組合連合会)



▲ 森林の仕事ガイダンス



▲ 林業のお仕事見学会

リモートセンシング技術とGISで 森林管理の高度化を 実現します。

境界明確化

森林量の把握

樹高などの計測



株式会社パスコ
福井支店

〒910-0005
福井県福井市大手3-1-13 大手門ビル6F
TEL : 0776-25-7427 / www.pasco.co.jp

株式会社ジツタは全国の森林組合様の業務に特化したシステムを開発し続けています



jitsuta

- ・スマホとGNSS受信機、レーザーコンパスと連動して簡単測量
- ・ドローンで撮った写真から造林補助申請図面の作成や山の材積推定
- ・GIS機能の付いた森林測量管理ソフトの決定版Assist7
- ・音声と画像認識を採用した木材検収アプリ

株式会社ジツタ 〒790-0964 愛媛県松山市中村二丁目8番1号
TEL 089-931-7175 FAX 089-934-7701 URL <https://www.jitsuta.co.jp>